

最後に思いつきりピアノが弾きたい――

そこには決して過去にしてはいけな現実があつた

「日本の夏」を語り継ぐ企画

ピアノ・ソナタ「月光」による

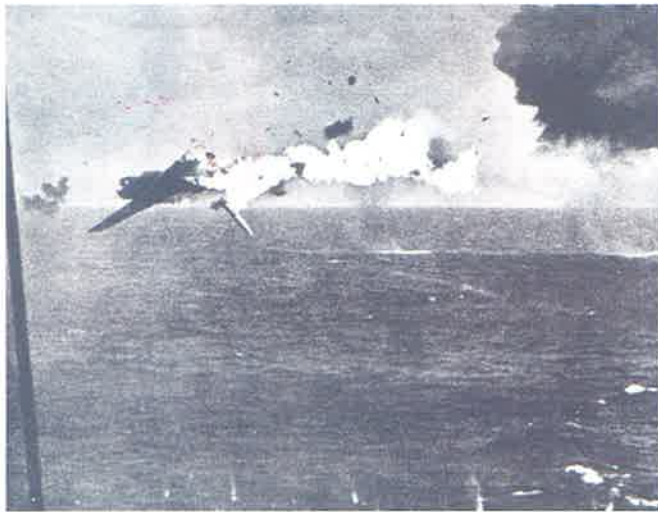
朗読劇

月光の夏

原作・脚本／毛利恒之（講談社文庫「月光の夏」より）

演出／鈴木完二郎 原田一樹

出演／南保大樹 奥山浩 岸並万里子 古田美奈子
ピアノ／根岸弥生



劇団東演

〒155-0033 東京都世田谷区代田1-30-13
TEL 03(3419)2871 MAIL info@t-toen.com
URL <http://www.t-toen.com>

写真提供＝毎日新聞社

今こそ、命の重さを次世代に伝えよう——

生きたくても生きることが許されなかった青春!

佐賀県鳥栖市……。戦後四十五年のこの年、鳥栖小学校の古いグラウンドピアノが廃棄されようとしていた。かつて教師をしていた吉岡公子は、そのピアノに忘れられない思い出を秘めていた。そしてピアノを平和の願いの証しとして保存しようという思いから全校集会で生徒たちにその思い出を語る……。

太平洋戦争末期の昭和二十年初夏……。音楽を愛する学徒出身の特攻隊員ふたりが学校に駆けつけ、今生の別れにベートーヴェンのピアノソナタ「月光」を弾き、沖縄の空に出撃していった……。

ピアノソナタ「月光」による
朗読劇

月光の夏

原作・脚本／毛利恒之（講談社文庫『月光の夏』より）
演出／鈴木完一郎・原田一樹

心の中で観る感動のドラマを

朗読劇『月光の夏』は、単なる朗読とは違います。ベートーヴェンのソナタ「月光」のピアノ演奏と（ドラマリーディング）がおりなす、新機軸のライブ・ステージです。

かつて、ラジオドラマは「心の劇場」と言われました。朗読劇もまた、観客の想像の世界をひろげます。のみならず、人間の息吹が伝わる、臨場感のある生の舞台です。名曲の調べとあいまって胸で聴く、心の中で観る、深い味わいの感動のドラマをおとどけます。戦争犠牲者の鎮魂と平和への祈りをこめて——。

（作者／毛利恒之）



南保大樹



奥山 浩



岸並万里子



古田美奈子



ピアノ／根岸 弥生

照明／鵜飼 守 音響／高橋 巖 舞台監督／原野寛之 制作／横川 功

2022年 7月30日(土) 開演：18:30 (開場：18:00)

メディキット県民文化センター 演劇ホール

入場券 2,000円 ■お問い合わせ tel. 0985(62)0075

ベートーベンの「月光」の演奏が胸に迫って来ます。
「平和の尊さ」「命の重さ」あなたに贈ります、輝きの音色を!

